

## 着衣での放射線治療の検討に関する研究

### 1. 研究の対象

2020 年 1 月～2024 年 12 月に当院で下着着用での骨盤部の放射線治療を行った方

### 2. 研究目的・方法

着衣での放射線治療は、皮膚線量の増加や体位に影響を与える可能性があるため、通常行っていない。しかし、乳腺や骨盤部での着衣での放射線治療は、羞恥心の低減による患者満足度の向上というメリットがある。本研究では、乳がん術後放射線治療において、患者満足度に関するアンケートを行い、着衣での放射線治療における利点・欠点を明らかにする。

研究期間は、2020 年 1 月～2024 年 12 月とする。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

アンケートを行い病衣の必要性の有無の検証

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 放射線腫瘍科 宮崎 正義（研究責任者）

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上